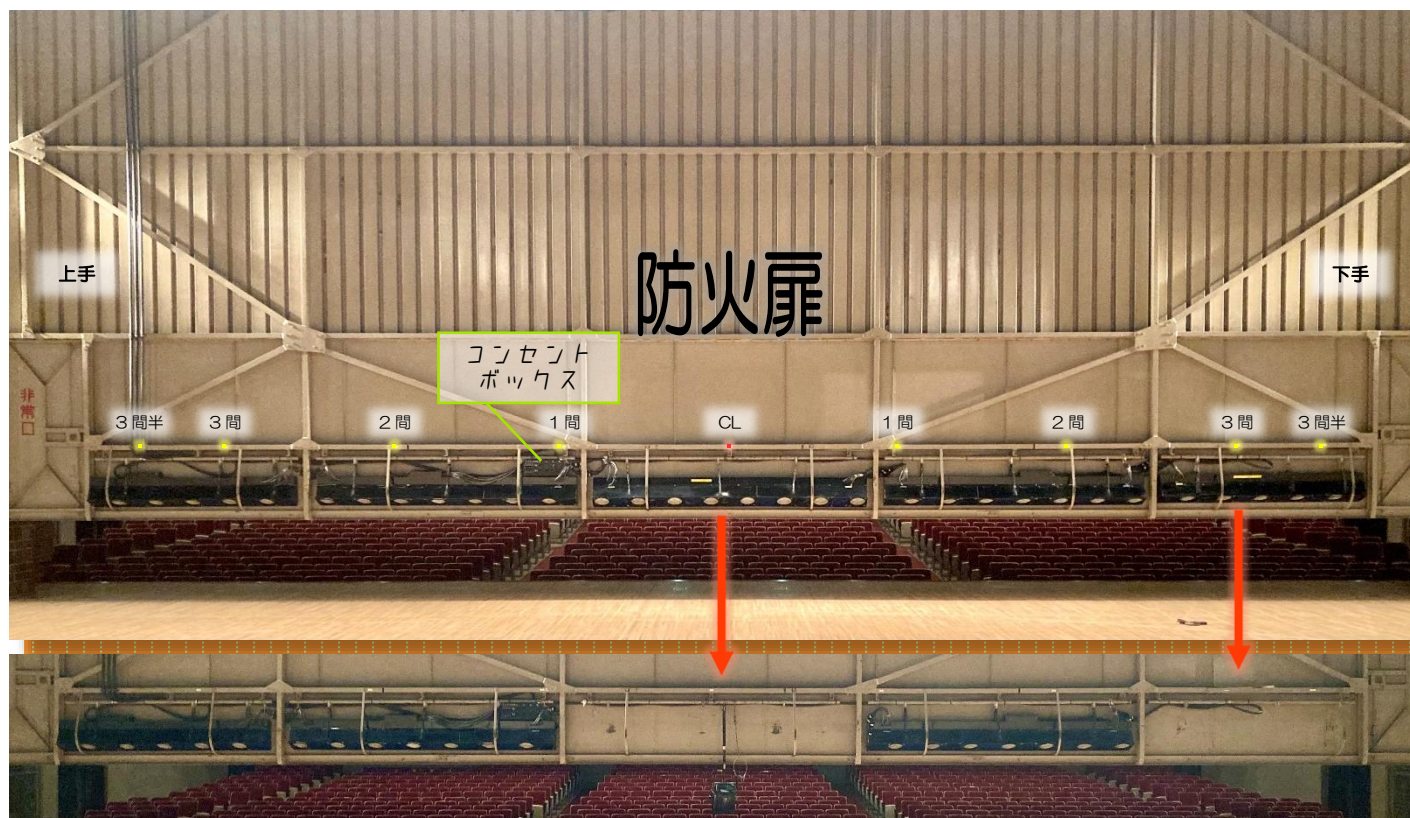


 防火扉（プロセニアムボーダーライト）詳細

ver2022.6



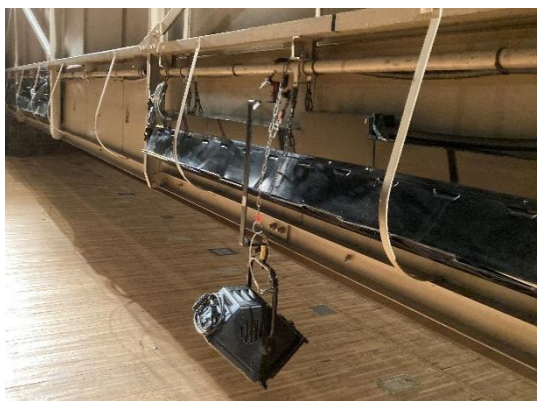
- ・防火扉の裏側下端にボーダーライトが設置されています。
- ・センターと一番下手のボーダーライトのみ取り外せるようになっており、取り外した重量の分だけ器材を吊り込むことが出来ます。（Bo 重量：センター22 kg、下手 17.5 kg）
両方外して最大 **39.5 kg**まで吊り込めます。



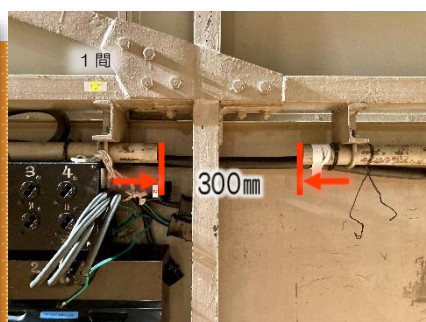
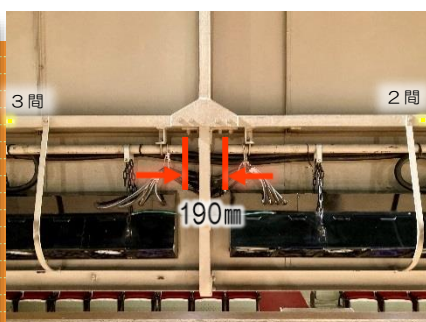
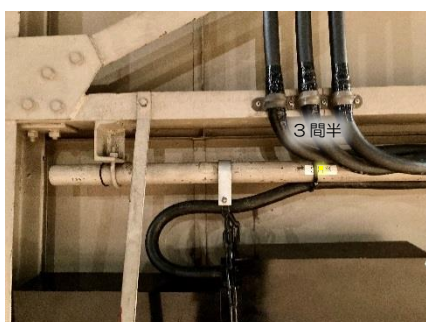
- ・ボーダーハンガーにて吊り込みます。



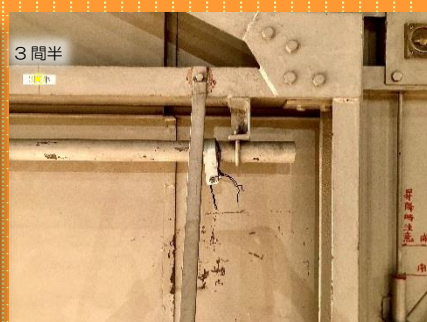
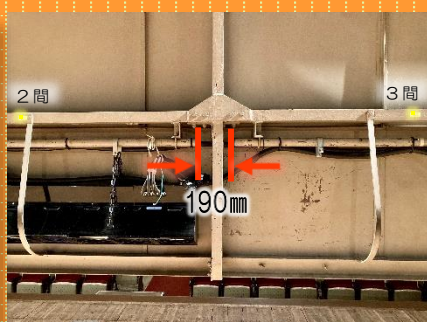
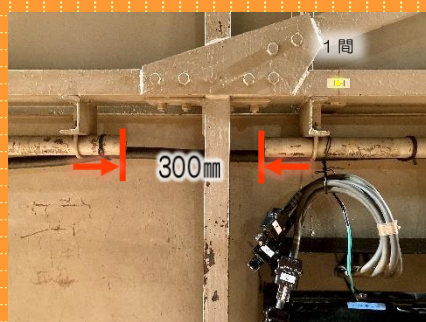
- ・吊り込んだ灯体は完全に防火扉の下に出る形になります。



- ボーダーライトを外したところ以外の場所にも吊り込むことが出来ますが、ボーダーケーブルを同じ鉄管に束ねてある関係上ハンガーが噛まない場所が点々と存在します。
- また、コンセントボックスがある場所も、吊り込むことが出来ません。



← 上手

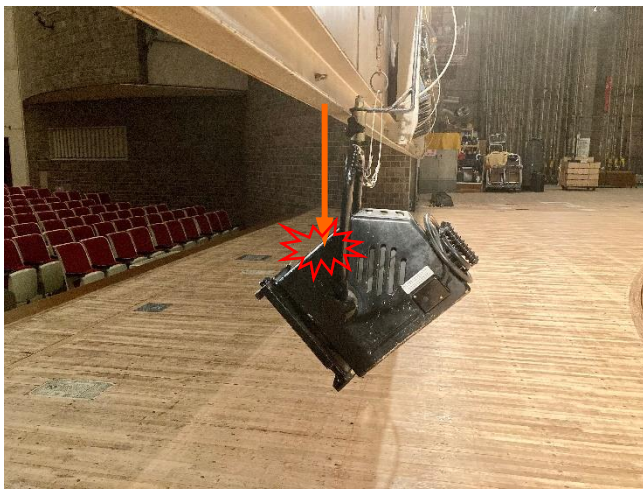


下手 →

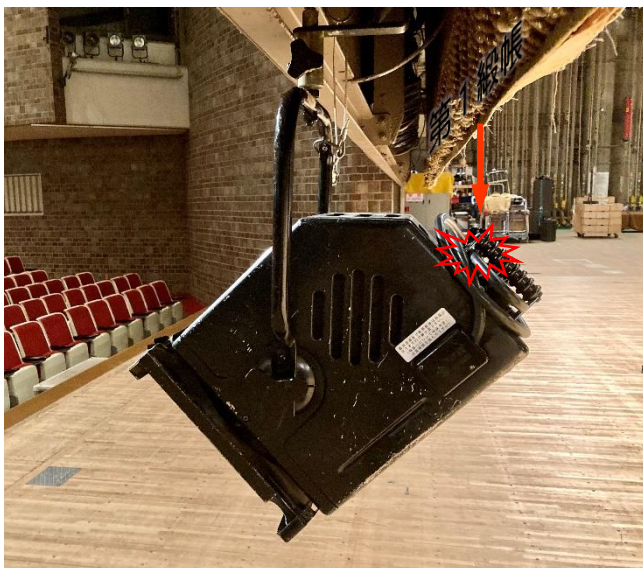
- また、鉄管は構造上所々途切れており、その隙間は 190 mm～300 mmあります。



- 客席から見たところ。
- 飛び切るとプロセと同じ高さになります。



- 防火扉なので、火災発生時には舞台面まで自動的に降りてきます。
その際灯体は防火扉の下敷きになると思われます。
あらかじめお承知おき下さい。



- 防火扉のすぐ後ろは第1 緞帳になっています。
- 大変接近しているため、第1 緞帳を使用する場合防火扉に器材を吊り込むことは出来ません。

 ブリッジ（第1 サスペンションライト）詳細

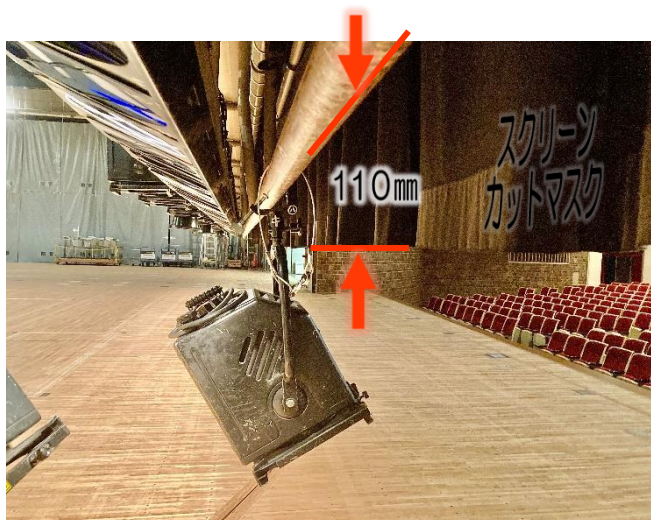
ver2022.6



- ブリッジの許容荷重 284kg。
- 常設器材重量 204kg。
- 通常のサスバトンと下段（スクリーン下枠）のパイプに吊り込み可能。
- 下段パイプは間口7間。
- サスバトンから下段パイプまで 670 mm。
- 乗り込んでシュートすることもあります、その際は持ち込みのヘルメットとフルハーネスの着用をお願いします。



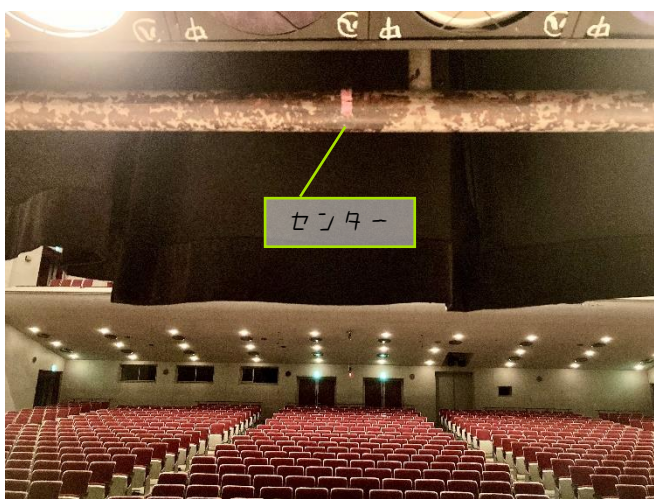
- ボーダーライトとの距離が近いのでムービングライトは下段吊りをお勧めします。



- 下段のパイプは通常のハンガーで吊り込み可能です。
- 下段に吊り込む場合、共吊りの文字はまくり上げます。
まくり上げると、スクリーンのカットマスクが残り、短い文字のようになります。
- 下段パイプの下端から文字の下端まで 110 mm。



- サスバトンからボーダーハンガーを使用して吊り込むと、下段に吊り込んだ灯体より少し高くなります。
(文字はまくり上げた状態)



- センターはこんな感じ。